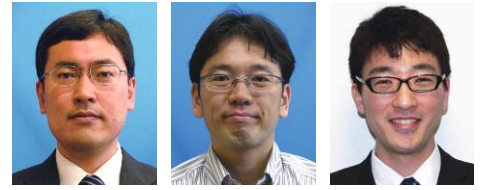


社会資本整備のストック効果の分析・評価手法に関する研究

(研究期間：平成27～29年度)



社会資本マネジメント研究センター 社会資本マネジメント研究室

室長 小川 智弘 主任研究官 山口 悟司 研究官 根津 佳樹

(キーワード) ストック効果、統計データ、メッシュデータ、社会資本整備

1. はじめに

2016年11月、社会資本整備審議会・交通政策審議会交通体系分科会計画部会の専門小委員会において、「ストック効果の最大化に向けて～その具体的戦略の提言～」が報告され、その中で、ストック効果の「見える化・見せる化」の方法などが議論された。国総研ではこの議論も踏まえながら、社会資本整備のストック効果の分析・評価手法に関する研究を行っている。

本稿では、統計データを活用したストック効果に関する分析例を紹介する。

2. メッシュデータを含めた統計データの整理

昨年までに収集した市町村・都道府県単位に集計された統計データに加えて、今年度は新たに「メッシュデータ」に着目して分析を実施した。「メッシュデータ」とは、国土を方形の小地域区画に細分し、この区画に統計調査の結果を対応させて編集された統計データである。関係省庁のサイト等から、ストック効果に関連すると考えられるデータ項目を抽出し、人口、雇用・労働、企業生産活動、企業立地件数などの分類ごとに、統計名、調査年度等の基礎的情報を整理した。(表参照)

表 ストック効果に関連するメッシュデータの例

項目	データ項目名	統計調査名	実施機関	調査頻度、調査実施年度
人口	人口	国勢調査	総務省統計局	1995年～2010年、5年毎
	世帯数	国勢調査	総務省統計局	1995年～2010年、5年毎
雇用・労働	従業者総数	事業所・企業統計調査(2001年、2006年) 経済センサス(2009年、2012年)	総務省統計局	2001年、2006年、2009年、2012年
企業生産活動	製造品出荷額	工業統計調査	経済産業省	1987年、1980年、1982年、1993年、1995年、2000年、2003年、2005年、2008年、2010年
	年間商品販売額	商業統計	経済産業省	1994年、1997年、1999年、2002年、2004年、2007年
企業立地件数	事業所数	事業所・企業統計調査(2001年、2006年) 経済センサス(2009年、2012年)	総務省統計局	2001年、2006年、2009年、2012年
地価・税収	地価公示	国土数値情報	国土交通省	1983年度～2015年度、1年毎

3. 複合的な社会資本整備とストック効果の関係性

ストック効果は河川、道路、下水道等様々な事業が複合的に実施された結果、発現されているケースが想定される。そこで、複合的な社会資本整備とストック効果の関係性について現地調査をおこなった。

盛岡市では新市街地の計画策定の際、新幹線や高速道路とのアクセス性、ダム建設による治水安全度向上を踏まえて立地が決定され¹⁾、バイパス整備が行われた。メッシュデータで新市街地を分析すると、立地事業所数が増加していることが把握出来た。(図参照)

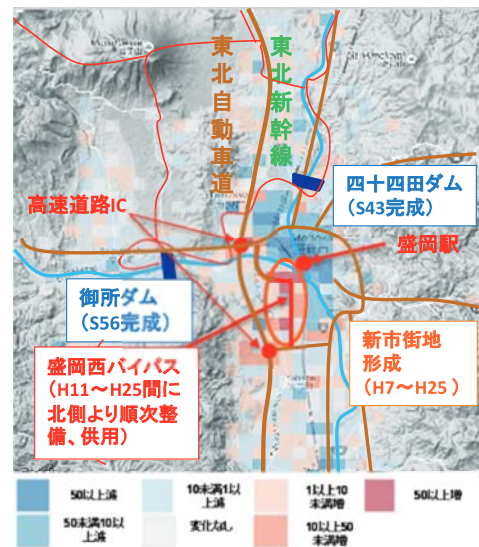


図 盛岡市周辺の事業所数の変化 (H24-H13)

4. おわりに

引き続きストック効果の遅効性や因果関係等の把握を進めるとともに、ストック効果の分析手法の取りまとめ及び事業評価への活用に向けた研究を進めていく予定である。

【参考】

1) 盛岡南新都市土地区画整理事業 事業誌、2014